

八戸を持続可能な都市に

SDGsフォーラム始まる

八戸学院大地域経営学部
主催の「八戸SDGs（持
続可能な開発目標）フォー



SDGsについて説明する
玉樹真一郎特任教授。27
日、八戸市の「はっち」

ラム」が27日、八戸市の「は
っち」で始まった。初日は
同学部の玉樹真一郎特任教
授の講演などが行われ、訪
れた市民らがSDGsの取
り組みに理解を深めた。

同学部では2022年か
らSDGsの考え方を教育
目標に取り入れる方針で、
同フォーラムはその一環と
して企画された。2月3日
までの期間中にトークイ
ベントやパネル展を開催し、
市民と一緒に八戸が持続可
能な都市になるための課題
を考える。

玉樹特任教授は「地域社
会で持続的に働き暮らすた
めに考えたいこと」と題し
て講演した。海の豊かさを
守るなどSDGsで掲げる
17の目標について、「八戸
の砂浜の砂はどこから来た
のか」など身近な問題への

置き換えによって分かりや
すくなることを説明。「感
動した体験から行動を起こ
すことが第一歩となる」と
取り組みを始めるヒントを
紹介した。

トークイベントは30日午
前10時〜午後5時にも予定

しており、デーリー東北新
聞社報道部の今井崇雄部長
らが事例発表を行う。パネ
ル展は3日までで、同学部
や市内の高校生の研究活動
などを紹介している。いず
れも入場無料。
(佐々木祐紀)